

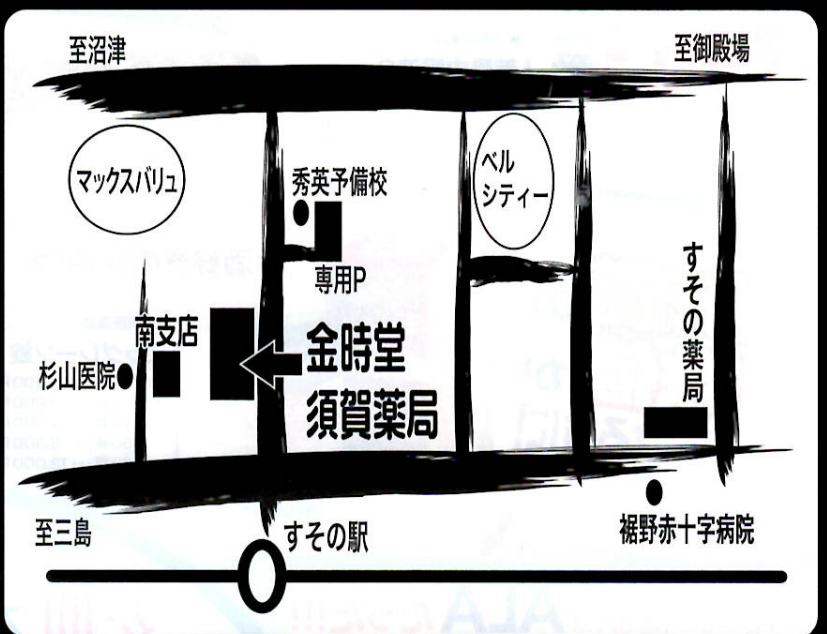
自家製剤 各種	皮膚病	ぜんそく せき・たん	十日間療法 痔の	漢方薬 エキス剤	ひざ・腰痛 神経痛	肝臓	冷え症	婦人病	毎月 1日・20日と 第1土曜日 ポイント2倍	資生堂化粧品 眉の描き方 アドバイス 無料
------------	-----	---------------	-------------	-------------	--------------	----	-----	-----	----------------------------------	--------------------------------

創業 昭和5年 「相談できる」あなたの薬屋さん
きんときどう

金時堂 須賀薬局本店

AM9:00~PM6:00 定休日/木曜・日曜・祝日
裾野市佐野807-14(すその駅前通り)
電話 055-993-0189 FAX 055-993-0595

屋久島ガジュツの胃腸薬 胃弱の方におすすめ 恵命我神散	血液さらさら 血圧・頭痛・肩こりに 冠丹元顆粒	熊笹原形質液 口臭・口内炎に サンクロン液
--	--------------------------------------	------------------------------------



春のスキンケア特集

～正しいケアが美肌への近道～

春の訪れと共にお肌の不調に悩んだ経験はありませんか？
原因を知り、正しくケアする事で、素肌美人を目指しましょう。
また、紫外線はお肌へ大きなダメージを与えます。紫外線対策もお忘れなく！

4大原因

春先のあなたの肌を荒らす

原因1

春のお肌はこんな状態

肌の細胞は、季節の移り変わりより少し遅れて生まれ変わるため、この時期のお肌はまだ冬モードを引きずっています。お肌が早く順応できるよう、季節に応じたスキンケアを行いましょう。

原因2

自律神経やホルモン代謝が乱れ、肌トラブルが起こりやすくなります

気候の変化や寒暖の差による肌への外的ストレス

原因3

春の強風で舞い上がるチリ、花粉、黄砂などの異物

肌に着することで、かゆみや炎症を起こします。花粉が多く飛ぶ地域では、[花粉症皮膚炎]と診断されることも

原因4

徐々に強くなる紫外線の影響

肌の水分が奪われ、ますます乾燥してしま

春の正しいスキンケア

今日から実践!!

春先のトラブルを起こしやすいお肌には、高価な美容液などのスペシャルケアも大切ですが、基礎的なお肌に優しいスキンケアが重要です。

① 汚れをやさしくしっかり落とし ② 水分をたっぷり与える ③ クリームや乳液でバリアする

STEP 1

メイク落とし

「肌をごすらす、やさしく」がポイント。いつもより多めの量を手にとり、肌表面をすべらせるようにくるくるとやさしく動かし、メイクをなじませます。

STEP 2

洗顔

泡立てネットなどを使って、たっぷりの泡で汚れを浮かせながら優しく落としましょう。泡で出るタイプの洗顔料もおすすです。すすぎ残しがないよう、ぬるま湯で充分すすぎましょう。

STEP 3

ふきとり

ふき取り用の化粧水を使って、洗顔で落とさきれなかった毛穴の汚れや、すすぎ残した洗顔料を優しく落としましょう。肌トラブルの防止にも繋がります。

STEP 4

化粧水

洗顔後の無防備な肌はどんどん乾燥していくため、化粧水はケチらずたっぷり、そしてできるだけ早く使しましょう。コットンや手に適量取り、やさしく押さえて肌に浸透させながらなじませます。ローションパックもおすす。

STEP 5

乳液・クリーム

化粧水で水分をたっぷり与えたあとは、乳液やクリームでフタをして、潤いを逃がさないケアが大切です。ベトつきが気になる方は、さっぱりした使用感の乳液を重ねづけするのがおすすです。

始めていますか? **UVケア**

紫外線はシミだけでなく、シワ・たるみの原因にもなります!

1年間の紫外線量と強さ

1年の中で紫外線量が一番多くなるのは5月で、まだ肌寒い3月でも、9月と同程度降り注いでいると言われています。春先(3月頃)のお肌は、冬の乾燥シーズンに生まれた肌細胞が、ターンオーバーとともに肌表面に出てきたもの。バリア機能が低下していて、夏よりも紫外線ダメージを受けやすい状態です。日焼け止めは1年中使用するのがベストですが、まだの方も今から対策することをオススメします!